

平成 19 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 久光製薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 中富 博隆
(コード番号 4530 東京、大阪、福岡、名古屋)
問い合わせ先 取締役執行役員広報室長 梶島 光政
(TEL 03-5293-1732)

「Norspan®」の独占的な販売権に関するプレスリリース

久光製薬株式会社(本社:佐賀、社長:中富博隆、以下「久光製薬」)は、本日、Mundipharma International Limited(以下「Mundipharma」)及びMundipharmaの日本人であるムンディファーマ株式会社(以下「ムンディファーマ」)と、非癌性の中等度から重度の腰痛および変形性関節症の慢性疼痛治療のためのブプレノルフィン貼付製剤「Norspan®」の日本での独占的な販売権を取得する独占契約を締結しましたので、お知らせいたします。

このたびの契約締結に伴い、久光製薬はMundipharmaおよびムンディファーマに対して契約締結時に3,000万ドルの一時金を支払うとともに、その後開発の進捗に応じたマイルストーンを支払う予定です。上市後は、設定した年間販売金額を上回った場合には追加的にセールスマイルストーンを支払う予定です。

Mundipharmaのアジア太平洋地域マネージングディレクター、ヘンリック・グラーボ氏は次のように述べています。「今回の提携はMundipharmaのアジア太平洋ビジネスの継続的發展に非常に重要なものです。提携の規模は、日本のみでなくアジア太平洋における非癌性の中等度から重度の慢性疼痛の管理の重要性と妥当性がますます増していることを示すものです。」

「Norspan®」はブプレノルフィンを含有する貼付タイプの経皮吸収製剤で、非ステロイド性抗炎症剤(NSAIDs)では十分な疼痛の管理ができなかった腰及び変形性関節症の中等度から重度の痛みをコントロールする薬剤です。日本では、1998年に設立されたムンディファーマが、2010年の上市を目指し、日本において第Ⅲ相の臨床試験を実施しています。

久光製薬は、現在、非ステロイド性抗炎症剤の外用消炎鎮痛貼付剤「モーラス®」(主成分:ケトプロフェン)群を中心とした販売に注力しており、開発段階においては現在第Ⅲ相の臨床試験を行っている癌性疼痛緩和テープ剤「HFT-290」(クエン酸フェンタニル)があります。そこに、医療ニーズの高い非癌性慢性疼痛治療剤である「Norspan®」が加わり、軽度の疼痛から非癌性の中等度、重度の疼痛、そして癌性疼

痛に至るまでの治療剤を提供することが可能となり、患者様のクオリティ・オブ・ライフの向上により一層貢献できるものと期待しています。

以上

参考資料

1. 「Norspan®」概要

「Norspan®」は、ムンディファーマにより開発されたブプレノルフィン経皮鎮痛剤であり、現在世界各国で販売されています。日本においては、2010年の上市を目指し非ステロイド性抗炎症剤ではコントロールできない腰痛及び変形性関節症の痛みの適応で臨床第三相試験を実施しています。

2. Mundipharma 社概要

「Mundipharma は、中程度から重度の疼痛、癌、呼吸器疾患、便秘の治療、消毒薬などを専門領域とし、世界各国のグループ企業、パートナー企業とのネットワークを活用して世界 70 カ国以上で事業を展開しています。日本においてはムンディファーマが日本の主な製薬企業と長期にわたる提携を実現し、過去にはイソジン®(ポビドンヨード)、MS コンチン®錠(硫酸モルヒネ徐放錠)、オキシコンチン®錠(オキシコドン塩酸塩徐放錠)、オキノーム散(オキシコドン塩酸塩散)等の製品を導出・上市した実績を有しています。